

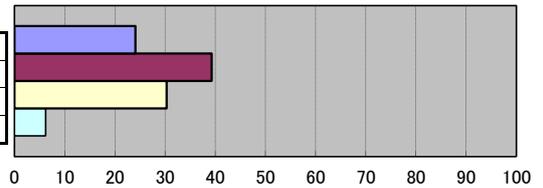
自治基本条例モニター
第2回アンケート結果（11/12～11/26実施）

（H24クロス集計）

回答率 50.91% 回答者数 112
対象者数 220

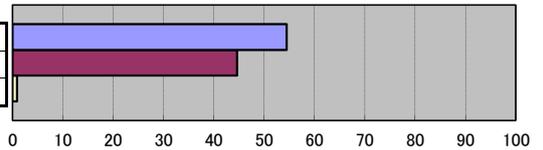
◆回答方法

1. Eメール	27	(24.1)
2. FAX	44	(39.3)
3. 郵便	34	(30.4)
4. 持参	7	(6.3)
合計	112	(100.0)



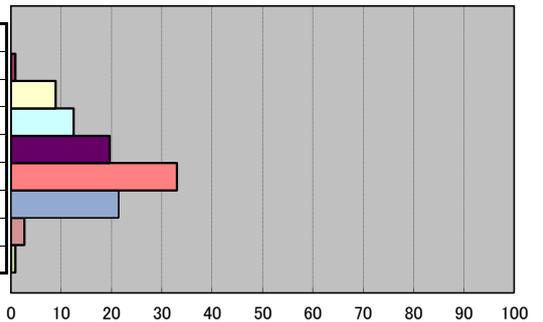
◆性別

1. 男	61	(54.5)
2. 女	50	(44.6)
3. 不明	1	(0.9)
合計	112	(100.0)



◆年代

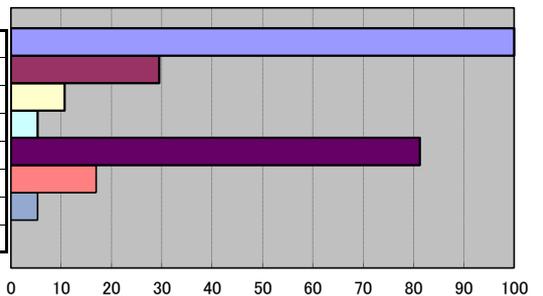
1. 10代	0	(0.0)
2. 20代	1	(0.9)
3. 30代	10	(8.9)
4. 40代	14	(12.5)
5. 50代	22	(19.6)
6. 60代	37	(33.0)
7. 70代	24	(21.4)
8. 80代	3	(2.7)
9. 不明	1	(0.9)
合計	112	(100.0)



◆情報共有について、お聞きします。

問1 市でお知らせしている市政情報の入手に関して、主にどのようなものを利用していますか。（特に利用しているものを3つまで選んでください）

1. 広報えべつ	112	(100.0)
2. 市のホームページ	33	(29.5)
3. 情報公開コーナー	12	(10.7)
4. 出前講座	6	(5.4)
5. 自治会回覧	91	(81.3)
6. 知人を通じて	19	(17.0)
7. その他	6	(5.4)
8. 無回答	0	(0.0)
合計	279	



【その他意見】

●手段について

- ・新聞（近郊発行含む）
- ・議会だより
- ・自分から積極的に求めるものでなく目に付いた情報を得ている。

●場所について

- ・市民会館などの公共施設
- ・地区センター

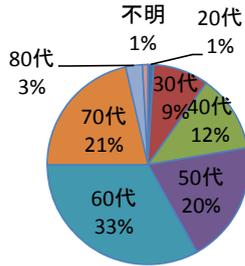
●情報入手についてのご意見等

- ・私の居住しているMSは町内会には入っていないため広報も届かないので、公共施設等へ行き求めてくるが、すでにないことが多い。

【問1回答分析】

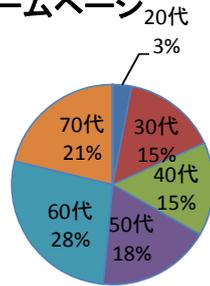
手段別利用者年代比較（特に利用しているものを3つまで選択）

広報えべつ



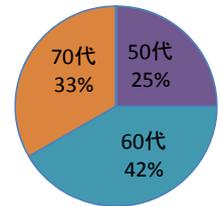
計 112名

市のホームページ



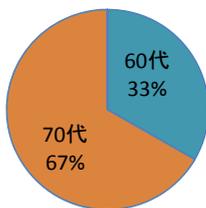
計 33名

情報公開コーナー



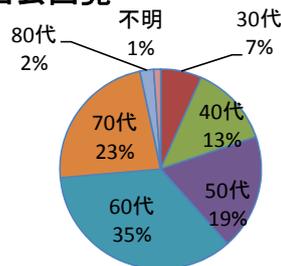
計 12名

出前講座



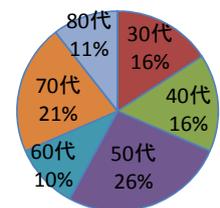
計 6名

自治会回覧



計 91名

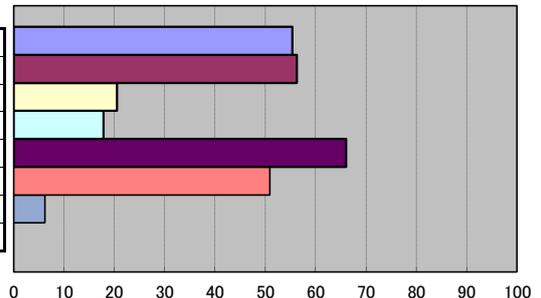
知人を通じて



計 19名

問2 情報を得やすくするために何が必要だと思いますか。（3つまで選んでください）

1. 必要な情報を探しやすいように提供する	62	(55.4)
2. 情報を得る機会や手段を増やす	63	(56.3)
3. 自ら積極的に情報をとりに行く	23	(20.5)
4. 提供する情報の量を増やす	20	(17.9)
5. 必要な情報をわかりやすく提供する	74	(66.1)
6. 適切な時期をとらえて情報を提供する	57	(50.9)
7. その他	7	(6.3)
8. 無回答	0	(0.0)
合計	306	



【その他意見】

●手段について

- ・防災スピーカーでの呼びかけ。
- ・ポスト投函など、自治体の回覧に頼らずに情報を書いた江別のペーパーを配布する。
- ・ホームページの情報を増やすなどして閲覧しやすくする。

●場所について

- ・市役所の情報公開コーナーの場所がわかりづらいので、PRを積極的にする。
- ・スーパー等に情報コーナー等があると便利だと思う。

●内容について

- ・文章の言葉使いを事務的ではなく理解しやすい言葉にし、必要な情報と思われる物にスポットをあてた内容を発信する。

●仕組みについて

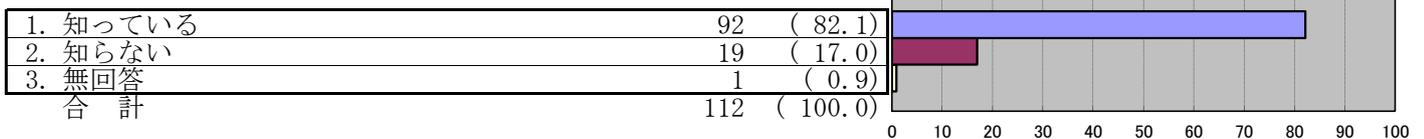
- ・情報発信元は何故市民にゆきわたらないのか考えるべきではないか。
- ・どういう方法・手段で情報を得ることができるのか市民に知らせること。

自治基本条例モニター
第2回アンケート結果（11/12～11/26実施）

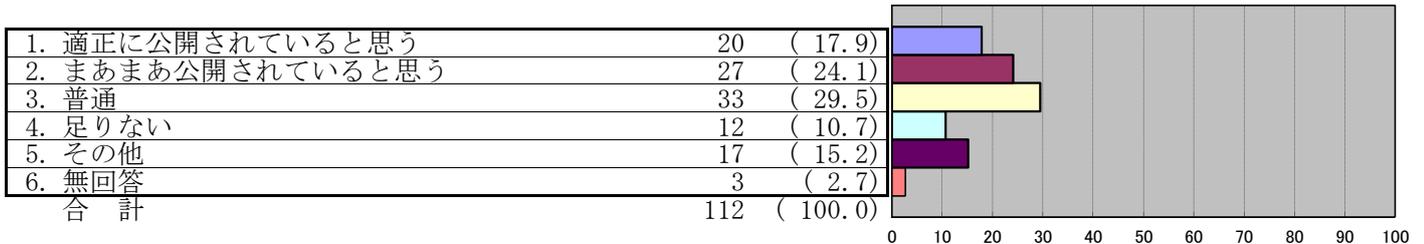
（H24クロス集計）

◆情報公開について、お聞きします。

問3 情報公開制度があることを知っていますか。



問4 自治基本条例では、市民参加を推進するために、市政に関する情報を知る権利を尊重し、情報を公正かつ適正に公開することを定めています。あなたは、この趣旨に則り、適正に情報が公開されていると思いますか。



【その他意見】

●公開する情報について

・量より公開内容の質を高めてほしい。

●申請方法について

・もっと簡単に情報を得る方法でなければ、公正かつ適正とは言えないと感じる。情報にもよるが、例えば大まかなところはインターネットで閲覧出来るようにするとよい。市役所に出向いての閲覧や郵送では手軽でないので難しいと思う。

・日曜日のみ休日の会社員は公開されている情報を入手する事が困難。

●適正な情報の公開について

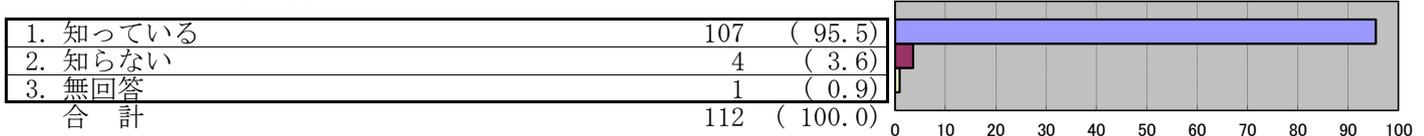
・どの様に公開され、どの様に情報を取りに行くのかその知識が無く、わからない。

・情報公開の場が少ない様に思う。

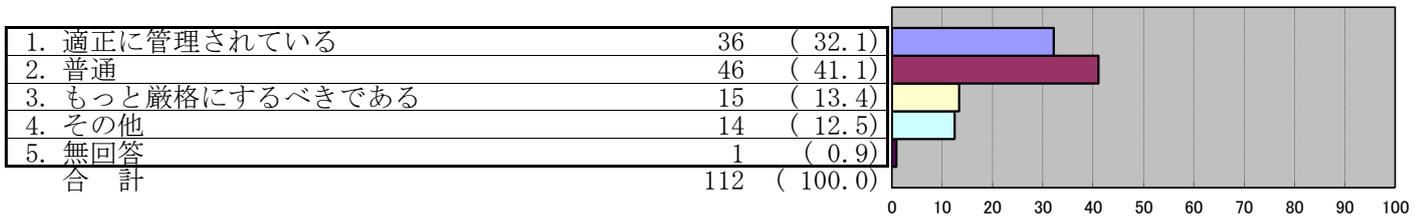
・公正、適正とはどういう基準でいうのか。公開されている情報、公開されていない情報がわからないので比べられない。

◆個人情報の保護について、お聞きします。

問5 個人情報保護制度があることを知っていますか。



問6 あなたは、条例や制度の趣旨に則り、適正に個人情報が保護されていると思いますか。



【その他意見】

●情報の管理について

・どのように管理されているかが、そもそもわからない。

●情報の運用について

・過度な個人情報の保護は役所の機能を硬直化させる。

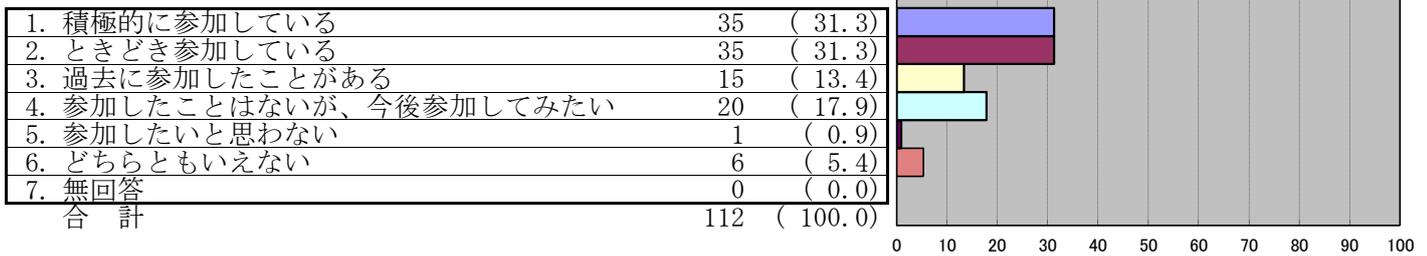
・保護は企業が悪用するのを防止するためのものであり、個人情報保護制度がひとり歩きをすると、コミュニティの安心・安全を守るにも連絡がスムーズにいかず情報共有を図る上からも縛りが強いと弊害になると思う。

自治基本条例モニター
第2回アンケート結果（11/12～11/26実施）

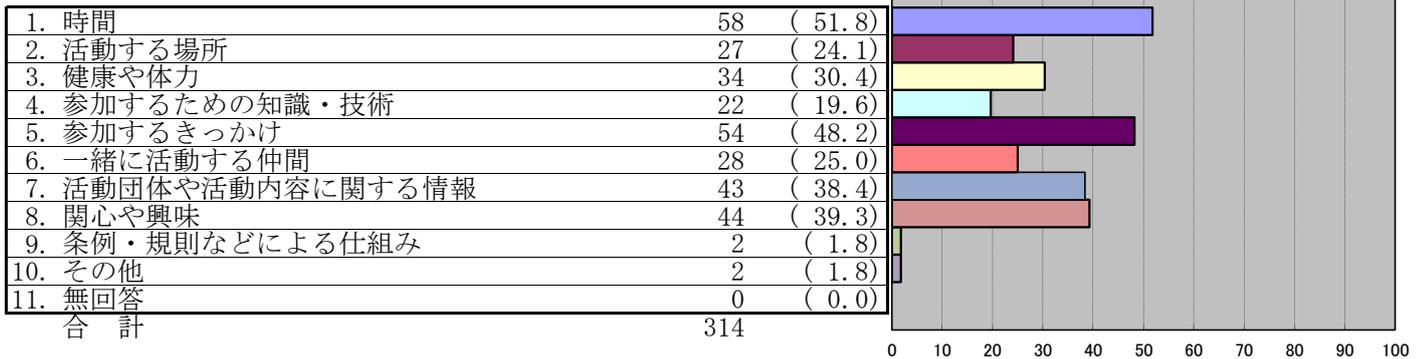
(H24クロス集計)

◆市民協働について、お聞きします。

問7 まちづくり活動(自治会・市民活動団体・ボランティア活動等)に参加していますか。



問8 参加するにあたって何が必要だと思えますか。（3つまで選んでください）



【その他意見】

●活動時間について

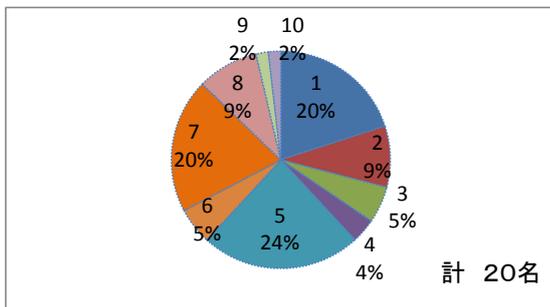
・子育て世代（30代～40代）が多数参加できる日・時・曜日・活動内容の希望をアンケートで求める必要があると思う。
・時間の都合が一番重要なポイント。色々な活動には、時間制限が有るので、平日の会合や行事はなかなか難しいと思う。

●きっかけについて

・行動を起こすときには、「動機」や「きっかけ」は重要と感じている。例えば、「町内会の道路脇を花で飾りましょう」という話があっても「忙しいから自分はパス」と成りかねないが、「町内会対抗のコンクールが有るので我が町内会が優勝しよう」となると意気を感じて参加が増えるかも知れない。そんな工夫が必要ではないか。

【問8回答分析】

●問7で「4 参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した方（3つまで選択）



- 1. 時間
- 2. 活動する場所
- 3. 健康や体力
- 4. 参加するための知識・技術
- 5. 参加するきっかけ
- 6. 一緒に活動する仲間
- 7. 活動団体や活動内容に関する情報
- 8. 関心や興味
- 9. 条例・規則などによる仕組み

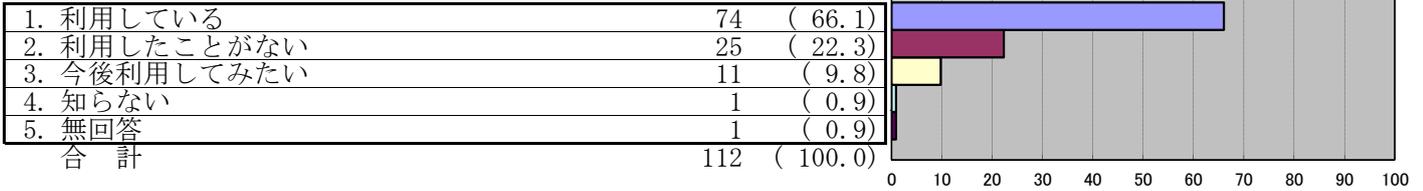
●問7で「5 参加してみたいと思わない」と回答（1名）した方
7. 8. 9が必要と回答

**自治基本条例モニター
第2回アンケート結果（11/12～11/26実施）**

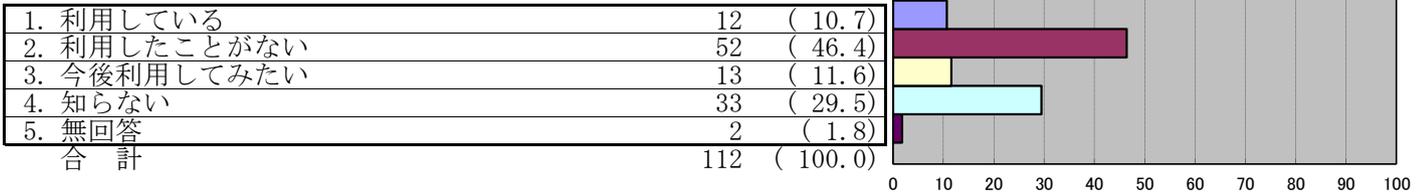
(H24クロス集計)

問9 問8の設問にある「2 活動する場所」として次の施設を知っていますか。

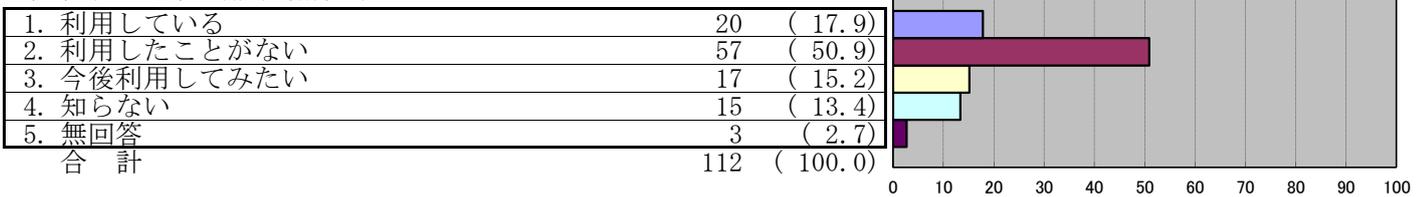
(1) 公民館・住区会館（自治会館）



(2) 江別市民活動センター・あい



(3) 江別市社会福祉協議会



問10 活動する場所について、ご意見等お聞かせください。（自由記載）

「自治基本条例モニター集計（自由意見）」参照

問1 市でお知らせしている市政情報の入手に関して、主にどのようなものを利用していますか。（特に利用しているものを3つまで選んでください）

●手段について

- ・新聞（近郊発行含む）
- ・議会だより
- ・自分から積極的に求めるものでなく目に付いた情報を得ている。

●場所について

- ・市民会館などの公共施設
- ・地区センター

●情報入手についてのご意見等

- ・私の居住しているMSは出入り多く町内会には入っていない為回覧廻らず広報も届かないので、公共施設等へ行き求めてくるが、すでにないことが多い。
- ・情報公開コーナーで公益通報者保護法・市民自治の芽を育てよう等のパンフレットや江別市まちづくり市民アンケート調査結果の資料を持ち帰り見えています。

問2 情報を得やすくするために何が必要だと思いますか。（3つまで選んでください）

●手段について

- ・防災スピーカーなどで呼びかける。江別はそれすらないが、実家の町にはある。色々なおしらせも流れる。
- ・フリーペーパーに載せる。
- ・インターネットによる情報公開を検討して下さい。
- ・ポスト投函など、自治体の回覧に頼らずに情報を書いた江別のペーパーを配布する。
- ・広報媒体の高度化、情報化。
- ・ホームページの情報を増やすなどして閲覧しやすくする。

●場所について

- ・大部分の主婦は週に2～3回は買物をします。なのでスーパー等に情報コーナー等があると便利だと思います。
- ・公開コーナーの場所がわかりづらい。1日市役所への来所人数もかなりあると思うので、PRを（放送アナウンスや新しいパンフの入替時）積極的にする。
- ・情報公開コーナーが雑然としていて分かりづらい。もっと市民に分かりやすく使用しやすいと良い。暮らしの便利帳なども置いてあると良い。

●内容について

- ・回覧等の文章の言葉使いを事務的ではなくしてほしい。理解しやすい言葉で。
- ・もりだくさんにはせずに必要な情報と思われる物にスポットをあてた詳しい内容を発信する。

●仕組みについて

- ・情報は条例を作ったところから発信されるもの。発信元は何故市民にゆきわたらないのか考えるべきではないでしょうか。
- ・どういう方法・手段で情報を得ることができるのか市民に知らせること。

●その他

- ・市民の代表である議員がどのような活動をしているのか一度議会を見学し知識を高めるのも必要。
- ・現状を見ると今後高齢社会が進み自治会としても限度が予想され5「必要な情報をわかりやすく提供する」の項が重点を置かざる得ない。
- ・1. 江別市 H23.11 発行「暮らしの便利帳」 2. 江別市教育委員会 H12.3 発行「生きること学ぶこと」イベント編 3. 江別市介護支援情報ガイドブック H16.3 発行「つむぎ」 私は上記の冊子を某会館で見た。これらは毎年発行されているのか。部数はどの位か。市内全戸に配布されているのか。公共機関だけに置いてあるのか知りたい。私も含めて市民はこれらの情報紙を利用する事が出来ていない様に思う。又此の様な冊子が有る事自体を認識していない。ではどのような方法で市民に広く活用してもらおうかその方法論になると思う。参考例として市役所内（正面玄関側）に又は住区会館・其の他の公共施設等に「江別市からの発信・情報」コーナーを設置する。

問4 自治基本条例では、市民参加を推進するために、市政に関する情報を知る権利を尊重し、情報を公正かつ適正に公開することを定めています。あなたは、この趣旨に則り、適正に情報が公開されていると思いますか。

●公開する情報について

- ・閲覧の為の索引が吊るしてありますが、棚の表示と連動（結びつく）する索引でわかりやすくしてほしい。又量より公開内容の質を高めてほしい。
- ・私はまだ情報公開の手続きをしたことはありませんが、テレビ等での知識では黒ぬり等せずに公開してほしいと思います。

●申請方法について

- ・もっと簡単に、情報を得る方法でなければ、公正かつ適正とは言えないと感じる。たとえば、インターネットで、大まかなところは閲覧出来るとか、市役所に出向いて閲覧や郵送では手軽でないので難しいと思う。（情報によりけりでは有るが）
- ・原則、日曜日のみ休日の会社員は公開されている情報を入手する事が困難。

●適正な情報の公開について

- ・件数はわかると思っておりますが、請求されている内容や個々に対する回答状況が不明につき答えようがないので、（問4で1「適正に公開されている」を選択したのは）願望です。
- ・何事もそうですが不利益になる事は公開していないと思う。
- ・情報を閲覧・視聴したことがないので、1～4までには答えられません。

自治基本条例モニター 第2回アンケート集計（自由意見）

- ・公正・適正とはどういう基準でいうのか。公開されている情報・公開されていない情報がわからないので比べられない。
- ・制度として知るのみで内容についてはあまり良く知らない。
- ・どの様に公開され、どの様に情報を取りに行くのかその知識が無い。
- ・私は公開制度については承知しているが実体としてまだ一度も開示を求めたことはない。
- ・情報公開を求めるようなことをしたことがないので、また他の人がどんな情報公開を求めているのかわからないので判断できない。
- ・公開されていることがどの程度かを知るすべがない。
- ・情報公開の場が少ない様に思う。
- ・適正に公開されているか、わからない（同意見多数あり。）

問6 あなたは、条例や制度の趣旨に則り、適正に個人情報保護されていると思いますか。

●情報の管理について

- ・判断できるだけの内容を承知していないので不詳。
- ・判断基準が不明。特に問題が起きていないので適正と考えるも、市職員が個人的に個人情報入手し流れている可能性ナシとは言えぬ。
- ・どのように管理されているかが、そもそも、わからない。
- ・この件については実体としては解らない。
- ・保護されているとは思いますが、適正か否かの判断基準が不明。他人に知ってほしい事もあるのでは。
- ・(保護されていると)・・・と信じたい。
- ・我が家では電話帳に情報を公開していません。しかし勧誘の電話が掛かってきます。その都度お断りをしてはいますが、人が変わると同じ所から何度も電話が掛かって来ることも…。時間に追われて介護をしている私としては困りものです。上記の選択では3番「もっと厳格にするべきである。」を選びたいところですが現実的には、いろいろ難しいのだと思います。
- ・一定の管理がされていないとすれば大変な事でしょう。
- ・よくわからない（同意見多数あり。）

●情報の運用について

- ・個の集合体が、自治体で有るので厳格さは必要ではないと思う。厳しくすると、集合体を維持出来なくなるのでは、ある程度のところで個人情報も表示する必要があると思う。
- ・役所の職員を信じているが、必要な時に（本人や身内のみ）何んでも個人情報と言う。法律どおりではなくゆるみがあっても良いと思う。
- ・政治家や官僚の公務についての情報は公開すべきなのに、これにより隠されている。
- ・行き過ぎている所があり情報が何も入らず、大切な連絡もとれ無い状態で対人関係がうまくとれないのはどうかと思う。

自治基本条例モニター 第2回アンケート集計（自由意見）

- ・過度な個人情報の保護は役所の機能を硬直化させる。
- ・保護は企業が悪用するのを防止するためのものであり、個人情報保護制度がひとり歩きをすると、コミュニティの安心・安全を守るにも連絡がスムーズにいかず情報共有を図る上からも縛りが強いと弊害になると思う。
- ・過度な保護に偏り過ぎると自治会活動に不便を感じる。例えば、自治会自主排雪の負担金を共同住宅所有者に求める際、正確な所有者を探し出すのに苦労している。市固定資産税のルートからの情報入手が可能と思われるので個人情報入手の目的を限定して保護制度の運用を希望する。

問8 参加するにあたって何が必要だと思いますか。（3つまで選んでください）

●活動時間について

- ・時間の都合が一番重要なポイント、江別市民、江別市以外で働く人が多く住んでいるので、いろんな活動には、時間制限が有るので、平日の会合や行事はなかなか難しいと思う。
- ・土・日曜日なら参加できる方も比較的に多いと思う。
- ・子育て世代（30代～40代）が多数参加できる日・時・曜日・活動内容の希望をアンケートで求める必要があると思います。今は老年集会が中心なので。

●きっかけについて

- ・行動を起こすときには、「動機」や「きっかけ」は重要と感じています。例えば、「町内会の道路脇を花で飾りましょう」という話しがあっても「忙しいから自分はパス」と成りかねないが、「町内会対抗のコンクールが有るので我が町内会が優勝しよう」となると意気を感じて参加者が増えるかも知れません。そんな工夫が必要ではないでしょうか。
- ・高齢化にともなう若がえりを計る。若い方にもっと知って活動して頂きたいが、不況の為か働きたい人が多く、無償ボランティアには、ある程度生活のゆとりが出来、子育てが終わってから入る人が多いと思うので多少のお金が入ると入ってくれるのではないかと。
- ・参加する意志があっても参加しようとすすめてくれる人がいない。

●その他

- ・地域の清掃に協力している。
- ・利用する人に親切です。
- ・活動例がいくつかありますが、私の場合は自治会の清掃で年度始めから決められているので答えようがありません。

問10 活動する場所について、ご意見等お聞かせください。（自由記載）

●市民の意識について

- ・条例では、「・・・市民が主体となって・・・」と規定されていますが、現状では「協働」或いは「市に協力してやっている」との考えを持つ市民が大半だと思います。市は方向性のみ示して、後は市民が如何に暮らしやすい活力や魅力のある江別を構築するか、個々に考えて行動する必要があると思います。まずは私のように協働の意味も知らず、「市役所は何もやってくれない」と言い出す自己中心的な市民の解消を計るべきだと思います。

●活動の場（施設・仕組み等）

- ・活動の場所を施設と限定せずに、江別市全フィールドと捉えると、もっと多くのアイデアが出るのではないのでしょうか。例えば、札幌で展開中の「オオドオリ大学」のようなスタイル（全国でも多く有る）で、江別市で働く人が講師と成り、地元の事を良く知ること、地元で愛着を持ってもらう取り組み等を参考にされては、如何でしょうか。あまり行政は・・・と肩を張らないで柔軟に考えた方が良いと思います。例えば、学園都市であるメリットをどのように活かすか等も考えてみるのも面白いと思います。その仕掛けを市がリードし、市民が考え行動する そんな形で活動の場所を拡大しては如何でしょう。

【場所（施設について）】

- ・活動する場所は十分に確保されていると思います。
- ・江別（野幌）は活動する場所がたくさんあり、とてもありがたいと思う。これからも利用させていただきたい。
- ・やはり地区、町内が一番活動しやすいと思います。
- ・自分の住居に近い所になるので、利用しやすいと思う！
- ・公民館、学校等も良いのでは！！（開放されては！！）
- ・場所はこれだけあれば充分だと思います。身体的障害も含めてそこまでの移動手段がない人のための施策が必要ではないのでしょうか。
- ・例として市民会館など市内にすでに有る場を活動する場として充実していく。数合わせ的なものでは活動する人が集まらない。
- ・住居に近い活動の場所がより利用し易いので積極的に活用したら好いと思う。
- ・小規模（中古の空家等）で多数あることで、家からも比較的近い所が選べ活用しやすくなるのでは。
- ・駅（JR）等などの人の集まる所にセンターを作ることで、札幌を見ている目を地元に向けさせることができるのでは？
- ・活動場所が広範囲に設定されておりますが、これは行政の自己満足と取れます。もっと地域住民が気軽に利用しやすい小規模な集会場も必要かと思われます。
- ・自治会によっては、その自治会独自の「自治会館」があり、その場所で様々な会議や活動を行う事が出来、便利であると知らされています。財政的に厳しいとは思いますが、我が自治会（新栄台西）にも、そのような「会館」の代わりになる場所が

自治基本条例モニター 第2回アンケート集計（自由意見）

あればと思います。（普段は、自治会内の「友愛病院」会議室を利用させていただいています）

【利用するに当たって】

- ・開館時間を早くして（午前8時）、閉館時間を遅くする（午後10時まで）。
- ・月曜日休館が多いと思う。今の時代年末年始以外無休の方が利用が増えるのではないのでしょうか。但し職員は大変なので交代で勤務するシフトではどうでしょう。
- ・あいている場所の知らせ。小さなサークルなどに料金を安くしていただけたらうれしい。
- ・利用するのに料金が高い公民館は場所的なものか駐車場が狭くてこまります。中に入っても部屋の場所がわかりづらい。清掃などはいきとどいていると思います。
- ・会館によって設備や管理状態に差がある。また公民館などきれいで使いやすい会場はなかなか場所を確保できない。
- ・住区会館等は今は管理人が複数の人が交替で勤務しているようなので「休館日」を設けずより多くの市民が活用出来るようにお願い致します。
- ・市民活動団体が活動拠点として自由に使用できるスペースが、もっとあってよいと思う。公民館や新たな装いでスタートした市民活動センターも更に活動スペースが拡充されることを望みます。
- ・大麻西地区センター（もう少し広いと利用効果 大）
- ・活動場所を利用する場合のルール作りが重要である。高齢者、若年層、男性、女性など多様な人が気持ちよく利用するにはルール作りが必要です。ルールを守れない人に対するアドバイスをどうするかが問題です。

●利用した感想について

- ・公民館の利用が多い。
- ・もっと自治会等で集まって活動できればいいと思います。
- ・区独自で自治会館を所有しているところに住んでいます。いろいろな目的で使用できるので大変便利です。
- ・図書館でパソコンを習いました。市の体育館では今卓球（サークル）もやっています。機会があればボランティア活動をしてみたいです。
- ・江別市社会福祉協議会はボランティア登録していますのでよく利用しています。職員の方にも好感が持てると思っています。
- ・公民館を活用している。良く清掃され感謝しています。
- ・公会堂は会議や自治会の新年会など利用します。
- ・足が悪い為近くの自治会館を利用しております。
- ・マンション住居者です。当集会場では月2回程度高齢者単身者を含めて茶話会を行っています。
- ・以前ボランティアをお願いしていたので江別市社会福祉協議会は利用していました。展示会などは、どのような活動をしているのか知ることが出来て勉強になりました。作り手は忙しい中、大変ですが続けてほしいと思います。
- ・活動施設は良い。野外活動について私有地か公有地か不明な所もあり不便を感じる

自治基本条例モニター 第2回アンケート集計（自由意見）

ことがある。

- ・例えば相談するための場所としてコミセンを使いたいが、一般市民への対応は冷たく、また有料では使えない。
- ・公民館は以前公民館講座を利用していましたが、最近興味のある物がなくなり利用していません。

●まちづくり活動の運営について

- ・江別市全体で見て必要な物や事を自由に意見交換をし、興味のある同士が後から集まり各団体で行動できる空間を市でサポートして欲しいです。民間や行政が組んで動けるようになると良い。今は市民農園や木を育てるなどを市でできればよいと思います。
- ・体育館の用具を町内会活動に貸出できないか。(例 ペタンク ボリング 輪投げなど)
- ・自治会の活動で使用する器材等は自治会館がないため、個人の自宅（役員宅中心）で保管しているが、1年間に1度程度の使用器材等は江別市で保管場所等を確保する事も検討願いたい。
- ・活動時の人員不足の場合、市として補助要因を紹介可能か。
- ・必要備品は個人持ち出し（貸し出し）として、運営に当たっての費用補助はどのようになっているのか等。
- ・大学が多くありますので協力してもらうように働きかけて下さい。
- ・ボランティアに力を入れるまちづくりなど積極的に考えてほしい。以前娘が通っていた野幌小学校はボランティア活動に力を入れていたが、中学に上がり、中央中学校に上がった途端、ボランティア活動がなくなってしまった。学校によってこういった活動に差が出てしまうのは残念である。
- ・施設も大事かもしれないが、土日でも市政（市のサービスについて）を問い合わせることができる機能の方が大事だと思うことがある。
- ・特に定年後に於ける社会生活を営むに当ってスポーツ等が出来る人々はそれなりに交流があるが趣味をもたない人々は孤独に陥りやすく積極的に地域の公共施設を活用すべきと考える。

●情報共有について

- ・他の地区の情報（活動状況など）提供がなされ交流の場のようなことがあることで広がりのおかげとなるように考えます。(私の認識不足でしたら申し訳ございません)
- ・地域を住み良くするために、市民からの情報を受ける手段がないではありませんか。

●情報提供について

- ・建物（ハード）の充実も必要だが、利用する機会や、手順について知られていないと思う。また、知らない。
- ・活動するに当たって、初回活動時の情報を地域住民に対してどの様に周知するか。
- ・活動する場所（公民館、住区会館、活動センター、福祉協議会）がどのような活動が

自治基本条例モニター 第2回アンケート集計（自由意見）

出来る場所かもっとわかりやすく明記してほしい。

- ・情報をわかりやすく提供してほしい。（情報公開コーナー、出前講座など）
- ・利用条件や料金、時間などくわしい情報がわかりにくく、利用しにくい。
- ・住まいの住区会館等で、よく集まって何かをしているのを目にするが、何をしているのかさっぱり分からない。また、参加している人は年寄りが異常に多く、若い世代は参加しにくい感じがある。ボランティアの活動に関してはいつ、どこで、何を行っているのかの情報が少ないと思う。市のボランティアだけではなく土現、土地改良区、道、開発局などの提携したボランティアも発足して良いのではないかと思う。
- ・問9の設問の場所（公民館・住区会館・活動センター・社会福祉協議会）が具体的にどんな団体がどんな活動をして、どの様な人材を必要としているのか、ほとんどの人達（少なくとも私のまわりでは）がわかっていないので、それを広く知らせるべきだと思います。
- ・何がしたいのか、自分に何ができるのか、どのような機会があるのか、知らないことばかりです。情報は多いとは言えません。
- ・設問に問題があるのでは？活動例はどこから何を通して知らされるのでしょうか？関心あるものがいくつかあるにも拘わらず知る機会がなかったので答えようがないのが残念！！
- ・どんな活動をしているのか分からないので、使えるのが限定される。活動状況を知らせてほしい。
- ・どの様な活動が可能であり、どの様な活動組織があるのか知りたい。
- ・活動する場所、内容を、知りませんでした。もっとアピールが必要だと思います。
- ・江別市民活動センター、「あい」は存在を知りませんでした。もっと広報活動に力を入れた方が良いと思います。
- ・このアンケートにより「江別市民活動センター・あい」を知りました。まずは活動の場を知ることから始まると思います。ボランティア活動に参加しなくても、人が集まれば良い意見や知識、さらには技術、活動する仲間もできるではと思います。
- ・市民活動センター・あいは知らない人が多いと思う。協働ねっとわーくはどんな活動に利用出来る様に出来ているのか知らない。自分に入る情報も年令、地域により違い又変わる事かとも思います。
- ・情報が無さ過ぎる。施設の名前だけは知っているが、活動内容などがまったくわからない。特に「あい」は、簿記などの有意義な講習をしていたそうだが、募集広告を建物に張り紙しているだけだったという。「あい」が近所に有れば目にすることもあるだろうが、それ以外の者には募集広告を知る手段がない。これではまったく意味がない。たとえば、「簿記」や「パソコン講習」などの募集広告ならば、ハローワークや図書館、大手スーパーなどと連携して募集広告を広く人の目に触れるよう努力するなどもっと考えてほしいと思う。
- ・地域内の小・中学校の具体的ボランティア参加の状況を知りたい。

●活動に参加することについて

- ・活動する為の時間がない。
- ・自治会の活動も若い方の参加が少なく活動する場所の問題以前に参加しない。出来ない理由が何か問題提起する必要があると思います。
- ・私個人のみならず、遺言・相続セミナーなど内容によっては北海道行政書士会札幌支部で協力できることがあるかもしれません。ですので、参加者が数十人規模のイベントができる場所が確保できればと思っています。
- ・自分のできるボランティア等があれば、活動を考えたい。
- ・押し花インストラクターをしていますので、押し花のボランティアをしていますがいろいろな施設から声をかけてくださっても時間的に応じる事ができず残念に思っています。
- ・利用したことがないので今後参加する為の知識増し自分に合った活動を行ってみようと思いました。

●その他

- ・野幌公民館
- ・公共の乗物の不備で出歩くのが不便と思います。
- ・仲間がいて集団活動ができる。

●モニターアンケートの提出方法に関する意見

- ・切手は貼るのはいりませんが封筒だけでも入れてくださればありがたいです。
- ・アンケート回答には自己負担とは残念です。
- ・このアンケート形式は、少なくとも MS オフィスが使えないと回答できないですよ？HTML上で回答出来るようにしてはいかがでしょうか？市民参加のためのアンケートなら、敷居を下げる努力を惜しまないでいただきたい。